



自治医科大学卒業医師への支援：研究編

大学を卒業し、医師として臨床に従事していると、ふとした疑問を感じたり、これってどうなのかと思ったりすることがあります。自分の専門分野であれ、一般的な興味であれ、疑問を解決していく姿勢は、医師としての人生に潤いを与えるものではないでしょうか。

そうした興味を、疑問を、日常診療に紛れてそのままにはいませんか。

自治医科大学では、全国で地域医療に従事している卒業生を対象に、日常診療で感じている疑問や興味を探究する姿勢を支援するため、自治医大オリジナルな研究を支援するため、**社会人大学院制度**や**研究生制度**、**地域医療研究支援チーム CRST**を用意しています。

また、地元の事情やニーズに応じてサポートできるように、**オープンラボアドバイザー制度**を2015年4月より立ち上げています。

問題解決に向けて、身近に相談できる方がいない、どのような方法があるか訊いてみたいなど、迷って途方に暮れる前に、**地域医療オープンラボ** (CRST 事務局)へご相談ください (openlabo@jichi.ac.jp)。様々なオプションを対話の中で検討していきましょう。

地域医療オープンラボ・CRST HP <http://www.jichi.ac.jp/dscm/CRST.html>

✓ ふと感じた疑問、これって研究テーマ？

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→本や雑誌、論文を見る

→CRSTへ連絡してみる：研究テーマとして妥当かアドバイス

✓ 研究テーマが見つかった(と思う)、どのように探究したらいいか

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→本や雑誌、論文を見る

→CRSTへ連絡してみる：研究デザインについてアドバイス

✓ 臨床研究を行い、データを得た、学会発表や論文発表を行いたい

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→本や雑誌、論文を見る

→CRSTへ連絡してみる：論文作成支援、症例報告作成支援

✓ 大学院に入り学生として研究生活を送ってみたい、学位取得を希望

→地元医大に相談してみる

→自治医大大学院入学を希望：地域医療オープンラボで担当教員紹介・マッチング

義務中→県担当者・県人会先輩・県担当自治医大教員と相談

→社会人大学院、一般大学院で学位取得を目指す

義務後→退職して大学院入学

勤務を続けながら→社会人大学院

✓ 専門家に相談しながら、指導を受けながら、研究を行いたい

→身近な詳しくそうな人に相談してみる

→地元医大に相談してみる

→自治医大の該当教室で研究生：地域医療オープンラボで担当教員紹介・マッチング
(卒業生には学費割引あり、研究歴となり、5年の研究歴があれば博士論文提出可能)

自治医科大学卒業医師への支援：研究編

社会人大学院(学外)：年2回の入試(9月、2月)：研究テーマと指導教員とのマッチングが重要

特典：4-6年の就学年数を選択できる(学費は同じ)、オープンラボがサポート：面談、進捗状況審査会

在学生2016年：24名(自治医大卒業生12名)：栃木 群馬 埼玉 東京 静岡 岐阜 大阪 鳥取 愛媛 福岡 佐賀 沖縄

研究テーマ：疫学研究や実験研究も可

地域医療研究支援チーム CRST (Clinical Research Support Team in JMU)

自治医大教員有志で組織された、卒業生の研究活動を支援する「お節介集団」、現在149名の教員が登録

支援内容

研究デザインのアドバイス 研究成績の英語論文文化へのアドバイス 英語論文作成のアドバイスと援助
すでに作成した英語論文をアクセプトさせるための援助

実績(2010年7月～)：支援件数85件、論文アクセプト38件、学位取得3件

地域医療オープンラボ アドバイザー制度：今後、ニーズに応じて増員予定

2015年4月より、自治医大で学位取得後、地域で活躍中の卒業生(複数の場合は1名)に委嘱：2年間(継続可)

地元または近隣の卒業生の集会に参加し、地元の事情やニーズに即した、大学院や研究などの広報と希望者へのアドバイス

間中一至 茨城24期 茨城県立こころの医療センター	新井由季 栃木25期 那須赤十字病院
齊藤正昭 埼玉21期 さいたま医療センター	廣瀬英生 岐阜24期 国保和良診療所
乗松祐佐 静岡23期 国際医療福祉大学	佐野文彦 大阪23期 北光記念病院
見坂恒明 兵庫23期 兵庫県立柏原病院 地域医療教育センター	懸樋英一 鳥取26期 鳥取市立病院
永井道明 広島26期 広島市立安佐市民病院	中島 裕 山口25期 山口県立総合医療センター
藤原真治 徳島19期 美馬市国保木屋平診療所	池本智一 熊本21期 熊本赤十字病院
森田喜紀 鹿児島25期 鹿児島県立大島病院 総合内科	

研究支援サイト

オープンラボ・CRST <http://www.jichi.ac.jp/dscm/CRST.html>

地域医療オープンラボ Newsletter <http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

無料統計ソフト「EZR」<http://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmed.html>

参考図書

「臨床研究と論文作成のコツ 読む・研究する・書く」松原茂樹(著, 編集), 大口昭英(著), 名郷直樹(著) 東京医学社 2011
「論文作成ABC: うまいケースレポート作成のコツ」松原茂樹(著) 東京医学社 2014
「臨床研究の道標(みちしるべ)―7つのステップで学ぶ研究デザイン」福原俊一(著) 健康医療評価研究機構 2013
「初心者でもすぐにできるフリー統計ソフト EZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析」神田善伸(著) 南江堂 2015

博士(医学)の種類

◇博士課程(甲種)

一般大学院生 ⇒ 一般選抜試験：職業を有しない学生：4年間

社会人大学院生 ⇒ 社会人特別選抜試験：勤務(常勤)、勤務時間外に講義聴講、研究・指導：4-6年間

◇論文博士(乙種)：大学院には在籍せず、本学に論文を提出し学位を取得

博士(医学)取得の要件

◇医学博士(甲種)：課程博士、大学院卒

1. TOEICテスト：500点以上(参考値)、入学検定料 30,000+入学科 282,000

2. 授業料年額 585,800×4年=2,343,200(社会人大学院は最長6年修学でも4年分のみ)

◇医学博士(乙種)：論文博士、医学部卒

1. 本学研究生・本学教員を1年以上

2. 研究歴：医学部卒業後、5年以上

3. TOEICテスト：600点以上(学位申請の年及び前3年以内に取得したもの)

4. 学位審査手数料：本学教員・卒業生 100,000

5. 英語論文：筆頭著者2編以上(査読制度のあるPubMed雑誌または学会誌。主論文は学位申請の年及び前3年以内に掲載、参考論文は症例報告可・年限無)

6. 研究生：卒業生は臨床研修を修了後、年間90,000(卒業生割引)×5年=450,000

研究歴として認められる勤務

- ・本学研究生、教員
- ・後期研修生としての自治医大受入期間(卒後5年目以降の卒業生)
- ・臨床講師として委嘱された期間、学外講師として委嘱された期間
- ・文部科学省研究機関、国立大学研究所、厚生労働省研究所、厚生労働省附属センター
- ・国立がんセンター、国立循環器病センター、国立精神・神経センター、国立国際医療センター
- ・厚生労働大臣の指定する臨床研修指定病院(協力病院は除く)
- ・以上と同等の国内外の研究施設での勤務